



明けましておめでとうございます。
寒い日が続いていますが、皆さん風邪などひかれてないですか？
風邪と言えば猫ちゃん達にも風邪のような症状を出す感染症があることをご存じでしょうか？
今月は猫ちゃんでもっとも多い感染症のひとつである、猫ウイルス性鼻気管炎についてご紹介します。



原因

1. 猫ヘルペスウイルス1型の感染によって起こります。
2. 感染源は感染猫の鼻汁、唾液、涙液です。
3. 再感染例では栄養不足、ストレス、他の病気などで抵抗力が低下した時などに発症します。

症状

1. 40℃前後の発熱、くしゃみ、鼻づまりによる開口呼吸、気管炎による咳などが主な症状です。
2. 症状が進むと、全身状態の悪化に加えて多量のよだれ、ウイルス性結膜炎による眼やに、涙、鼻汁で顔の汚れが目立つのが特徴です。



これらの鼻汁、唾液、涙液に多量のウイルスが含まれています。



人の風邪より症状は重く、長引く事が多いです。



人のインフルエンザが猫ちゃんに感染しないように、猫ちゃんのヘルペスウイルスも人には感染しません。



- 重症の場合は回復するまでに1カ月以上かかることもあります。
- 重症の場合は肺炎を起こすこともあります。
- 妊娠猫では重症化しやすく死産・流産の原因となります。
- 幼若な猫および重症猫では脱水や栄養不足で死亡することも少なくありません。
- 結膜炎は角膜炎、角膜潰瘍へと進行して、失明の恐れもあります。
- 過去に感染した事のある猫ちゃんは、この病気に対する抵抗力を持っていることが多く、例外はありますが、あまり重症にならないことが多いです。



膿のような鼻汁や眼やにが、鼻腔や眼瞼をふさいでしまうこともあります。



僕ら仔猫は抵抗力が弱いから、重症になりやすいんだ。



進行すると角膜潰瘍になり、失明することもあるんだよ。

治療

- ウイルス本体を死滅させる方法がないため、一般的に対処療法を行います。
- 脱水改善のための輸液をします。
- 抗生物質による二次感染防止および治療をします。
- 鼻汁、咳などを軽減する治療をします。
- 栄養補給などを行います。

目、口、鼻からの分泌物は、濡れたコットンなどで毎日数回拭きとってね。無理に剥がさずに、ふやかしてから拭いてね。



この病気の時は、口や鼻が不快なので内服薬をいつも以上に嫌います。根気よく飲ませてあげましょう。

予防

最も大切なことは、ワクチンによる予防接種で、症状発現を最小限にすることが出来ます。ワクチンをうけることが予防につながります。